

学校 教育 目標	『自らがやく子』				
	【知】自ら進んで課題や問題に取り組み、積極的に学び続ける子を育てます。 【徳】友だちのよさを認め、自他を尊重できる子を育てます。 【体】健やかな心と体を育み、自他の生命や健康を大切にすることを育てます。 【公】社会の一員としてお互いに助け合い、社会のために行動する子を育てます。 【開】人とのコミュニケーションを通して、社会への視野を広げ、共に生きる心を育てます。				
学校 概要	創立 53 周年	学校長 相坂 俊	副校長 杉山 波也	2 学期制	一般学級: 個別支援学級:
	児童生徒数: 人		主な関係校: 早淵中学校 折本小学校		

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<自分づくりに関する力> <問題発見・解決能力> <心身ともにたくましく生きる力>	早淵中学校 折本小学校 勝田小学校	安心して学び合い、確かな学力を身につけられる早淵中ブロック ①小中学校の教職員の人的交流を促進して、「学力観」「指導観」などの共有化を図り、基礎・基本の充実を目指した、授業改善の促進と学力向上を目指す。 ②小中学校間のいわゆる中1ギャップから生じる不登校問題等、今日的な児童生徒指導上の課題の解消を目指す。 ③児童生徒間の交流行事を中心にして意図的・計画的に機会を設け、積極的に行う。

中期 取組 目標	学校教育目標の実現を目指し、だれもが安心して生活できる学校づくりをします。 ・分かりやすく、魅力ある授業づくりに取り組み、子どもの学ぶ意欲を引き出します。 ・学年内交流、異学年交流、幼保小中交流等を通して、他者と豊かにかかわる態度を育みます。 ・保護者、地域、関係諸機関と連携しながら、開かれた学校づくりに取り組みます。 ・教職員が相互に連携・協働しながら、学校運営組織「チーム勝田」の確立を進めます。
----------------	---

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知	①子どもの自尊感情を育むために重点研究では、「分かるできる」に視点を当てて学級づくり、授業づくりを行う。②YPスキル⑮「しっかり話を聴く」の達成に向け、支援の方法を研究し、友達の話の肯定的に聞く子を育てていく。
担当 重点研推進委員	
豊かな心	①令和2年度の取組を基盤に、年間計画や目標を設定し、「声を掛け合える関係づくり」を目指していく。②各教科や行事などに合わせて指導計画を作成し、道徳で学習したことを日常に繋げられるようにする。
担当 道徳部・特活部	
健やかな体	①年間を通して、定期的に短縄を使った運動を行う機会を作り、楽しみながら体を動かす活動に取り組む。②バランスイ〜ナワークを通して、バランスの良い食事は心身の健康や成長にとって大切であることを理解し、食生活に生かす。
担当 体育部・食育部	
特別支援教育	①どの児童にとっても分かりやすい授業になるようユニバーサルデザインを意識し、学習環境を整備したり指導方法を工夫したりする。②支援を要する児童にすべての職員が適切にかかわれるよう、保護者と共通理解を図りながら個別の教育支援計画・指導計画を作成する。
担当 特別支援教育担当	
児童生徒指導	①勝田スタンダードをもとにした一貫性のある指導に、全教職員で取り組む。②‘全教職員で全児童を見る’という意識をもち、児童の実態について共通理解する場を適宜設ける。、一人ひとりが安心して過ごせる学校づくりに取り組む。
担当 児童指導委員	
地域連携・ 学校運営協議会	①学校・家庭・地域が協力、連携し合って、児童の活動の活性化や教育整備の推進を図り、絆づくりと活力あるコミュニティの形成を目指す。②幼稚園、保育園の園児との図書交流や秋祭り交流などを通して、自己肯定感や主体性を高められるようにする。
担当 教務部・幼保小担当	
安全管理	①児童が安全に登下校できるように、校門前や交通量の多い横断歩道で見守りや旗振りを行う。②地震・火災・緊急発令時の引き取り・不審者対応をねらいとして避難訓練を実施する。「お・か・し・も」や「大きな荷物」の合言葉の約束を守って避難行動ができるように指導する。
担当 安全部・防災部	
いじめへの対応	①「いじめ防止」を人権教育や児童指導の中核に置き、すべての教育活動を通して未然防止に取り組む。認知された案件の経過確認を丁寧に行うことで再発防止に努める。②定期的な児童アンケート調査や教育相談による実態把握と全教職員の研修を通して、些細な変化を見逃さない体制づくりを行う。
担当 いじめ防止対策委員	
人材育成・ 組織運営 (働き方改革)	①重点研と連携した基礎基本を学び合うプロジェクトを立ち上げ、ミドルリーダーとメンターの意図的・計画的に連携し、共に学び合う雰囲気づくりをする。②職員室の掲示板を改良し、職員同士で交流できるようにする。会議の見直しを測るなどの業務改善を図り、帰宅しやすい環境をつくる。
担当 教務	